

平成 25 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 新興プランテック株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 吉川 善治  
 (コード番号 6379 東証第 1 部)  
 問合せ先 取締役 常務執行役員  
 池田 俊明 (TEL 045-758-1950)

## 平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異 および通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 25 年 5 月 9 日に公表した平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日) の業績予想値と、本日公表の第 2 四半期累計期間の実績値において、下記のとおり差異が生じましたので、お知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、通期業績予想につきましても修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

##### (1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	45,500	3,350	3,420	1,800	38.94
実績値 (B)	40,406	2,678	2,792	1,499	32.44
増減額 (B-A)	△5,093	△671	△627	△300	
増減率 (%)	△11.2	△20.0	△18.3	△16.7	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	46,460	2,951	3,071	1,705	36.89

##### (2) 個別

	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	41,500	3,070	1,700	36.77
実績値 (B)	36,395	2,141	1,173	25.38
増減額 (B-A)	△5,104	△928	△526	
増減率 (%)	△12.3	△30.3	△31.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	43,544	2,819	1,601	34.64

## 2. 平成26年3月期通期業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

### （1）連結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	85,000	5,900	6,000	3,300	71.38
今回修正予想（B）	77,000	4,500	4,700	2,600	56.24
増減額（B－A）	△8,000	△1,400	△1,300	△700	
増減率（％）	△9.4	△23.7	△21.7	△21.2	
（ご参考）前期実績 （平成25年3月期）	93,845	5,149	5,387	2,808	60.76

### （2）個別

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	78,000	5,600	3,150	68.14
今回修正予想（B）	70,000	4,000	2,250	48.67
増減額（B－A）	△8,000	△1,600	△900	
増減率（％）	△10.3	△28.6	△28.6	
（ご参考）前期実績 （平成25年3月期）	87,920	4,965	2,541	54.97

## 3. 差異および修正の理由

当社グループの事業環境につきましては、主要な顧客であります石油・石油化学業界では、プラントメンテナンス費用の削減や設備投資の抑制が継続しております。また、当期（平成26年3月期）は、定期修理工事の端境期にあたることや国内プラント市場の全体的な縮小により、同業他社との競争も激化しております。

当第2四半期累計期間においては、国内での装置トラブルの発生を踏まえたプラント老朽化対策・事故防止対策・安定稼働のためのメンテナンス投資や工場の石油化学工場化、精製能力の削減や設備廃止に伴う改造・改修工事等の投資を期初に見込んでおりましたが、計画中止や失注等もあり、完成工事高は前回発表予想を下回る結果となりました。また、損益面においても、完成工事高減少に伴う利益の減少により、前回発表予想を下回りました。

なお、通期業績予想につきましては、引き続き厳しい環境が続くものと予想され、同業他社との価格競争による利益率の低下等により、連結、個別業績とも、前回発表予想を下回る見込みです。

（注）今回の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上